保管用

TAJIMA

ご使用前に必ずお読みください。

タジマ

サスペンダー取扱説明書

1版

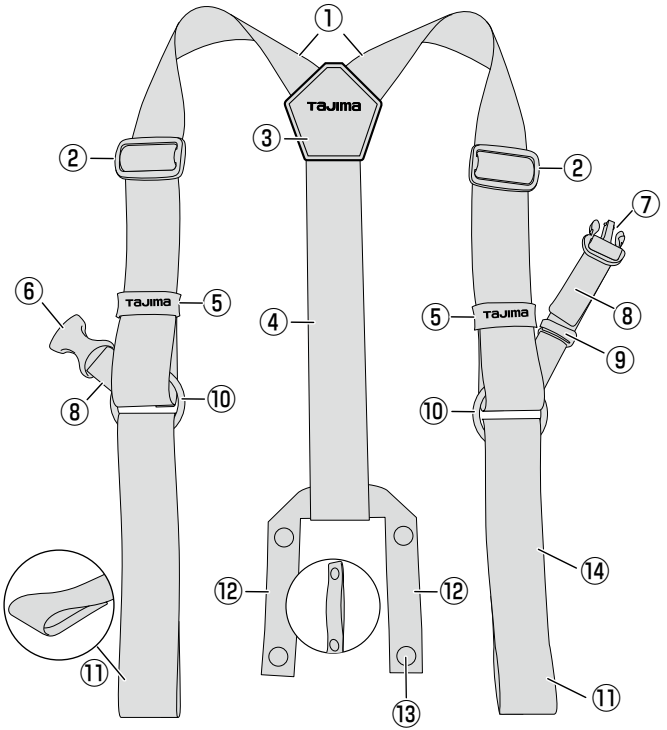
このたびは、《タジマ サスペンダーシリーズ》をお買い上げいただきありがとうございます。本品は、建設工事現場・工場等の高所作業に用いる安全帯用アクセサリーです。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、ご使用ください。危険・警告・注意の項目は、事故を未然に防ぐために厳守してください。この取扱説明書は、いつでも活用できるよう大切に保管してください。また、より安全なご使用のため、産業安全研究所技術指針「安全帯使用指針」（NIIS-TR-No.37（2004））の併読をお奨めいたします。

取扱説明書を紛失された場合は、弊社HPにも掲載しておりますので、プリントアウトして保管してください。
HPアドレス：http://www.tajimatool.co.jp
（HPトップページ「取扱説明書」のボタンをクリックしてください）

●目次

1. 各部名称 …… 2
2. 取付け方法 …… 4
2-1【SEG サスペンダー】+【SEG 胴当てベルト】+【胴ベルト】 …… 4～5
2-2【SEG サスペンダー】+【胴ベルト】 …… 6
3. 装着方法 …… 7
3-1【SEG サスペンダー】+【SEG 胴当てベルト】+【胴ベルト】 …… 7
3-2【SEG サスペンダー】+【胴ベルト】 …… 8
4. 各バックルの調整方法 …… 9
5. 必ずお守りください(使用上の注意事項) …… 10
6. お客様相談窓口 …… 12

1. 各部名称



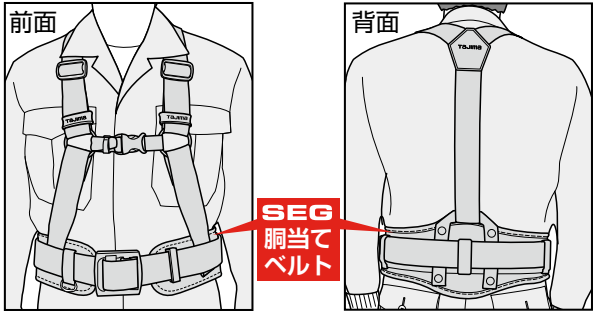
①肩ベルト
②肩バックル
③背中当て
④背中ベルト
⑤ベルトストッパー
⑥胸バックル（凹側）
⑦胸バックル（凸側）
⑧胸ベルト
⑨胸ベルト用ベルト通し
⑩アクティブリング
⑪固定用ループ
⑫胴ベルト用ループ
⑬固定用ボタンホック（凹側）
⑭腰ベルト

装着方法は Ⓐ または Ⓑ の2種類

Ⓐ SEG サスペンダー ＋ SEG 胴当てベルト ＋ 胴ベルト

〈P4～P5、P7をご覧ください〉

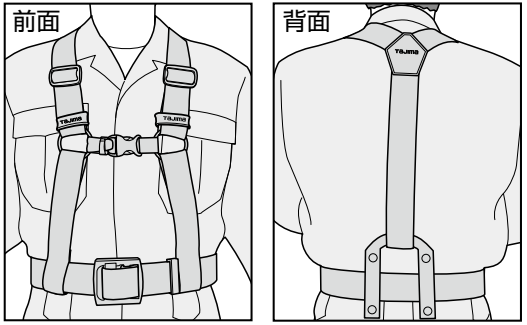
ご注意 SEG サスペンダーと胴当てベルトを組み合わせる場合、SEG マークのある胴当てベルトをご使用ください。



Ⓑ SEG サスペンダー ＋ 胴ベルト

または SEG マークの無い胴当てベルトをご使用の場合

〈P6、P8をご覧ください〉



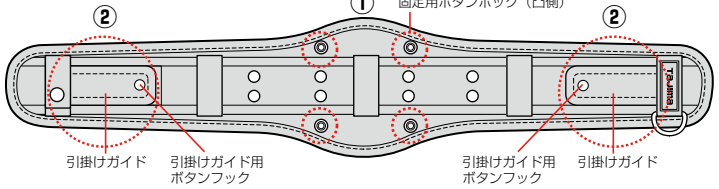
2-1 取付け方法

Ⓐ SEG サスペンダー + SEG 胴当てベルト + 胴ベルト

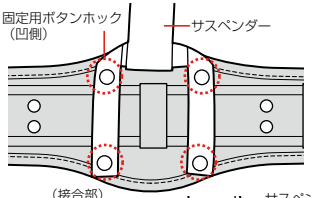
1. SEGサスペンダーと SEG胴当てベルトの取付け方法

〈注意〉必ずサスペンダーと胴当てベルトを先に取付けてから胴ベルトを取付けてください。

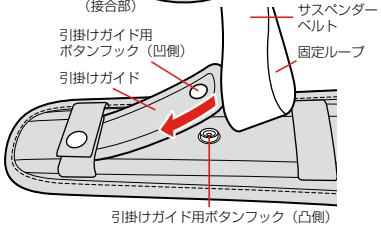
〈サスペンダーとの接合使用部〉



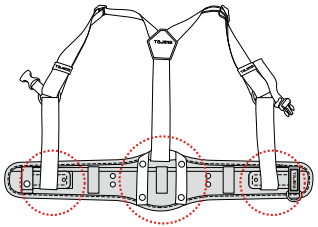
①胴当てベルト中央の固定用ボタンホック（凸側）とサスペンダーの接合部の固定用ボタンホック（凹側）の位置を合わせ、しっかりはまるように奥まで押し込み止める。



②引掛けガイド用ボタンホック（凸側/凹側）を外し、図のようにサスペンダーの固定用ループ部を通す。引掛けガイド用ボタンホック（凸側/凹側）を閉じて固定する。反対側も同じように固定する。その際ベルトがよじれないように注意する。

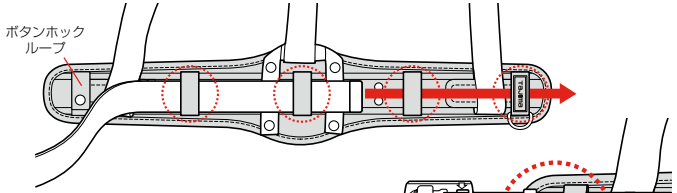


[取付け完成図]



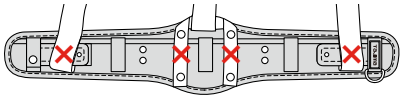
2. 胴ベルトの取付け方法

①図のように胴ベルトを胴当てベルトのベルトループに通す。

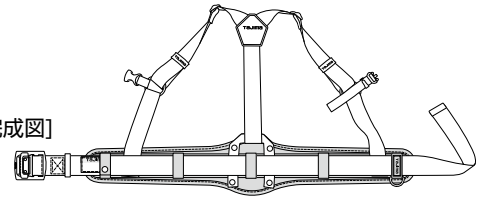


②ボタンホックループに通して固定。

〈注意〉サスペンダーの固定用ループ、胴ベルト用ループに胴ベルトは通しません。



[取付け完成図]



サスペンダー&胴当てベルト対応表

※1.サスペンダー固定ループに胴ベルトを通し固定（引掛けガイド内側）

※2.サスペンダー固定ループに胴ベルトを通し固定（引掛けガイド外側）

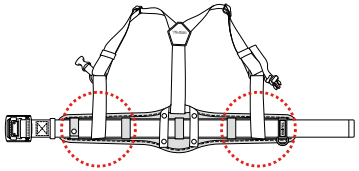
胴当てベルト	サスペンダー S	サスペンダー M	サスペンダー L
GAXW600	○	○	※2
GAXW700	○	○	○
GAXW800	○	○	○
CRX700	○	○	○
CRX800	○	○	○
CRX900	※1	○	○

〈注意〉下記製品の組合せの場合、胴当てベルトの「引掛けガイド」は使用せず、胴ベルトをそれぞれの固定ループに通します。

<対応表※1の組合せの場合>

CRX900

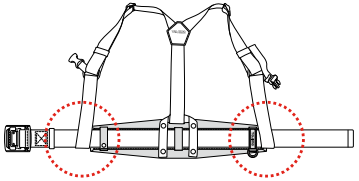
サスペンダー
<Sサイズ>



<対応表※2の組合せの場合>

GAXW600

サスペンダー
<Lサイズ>

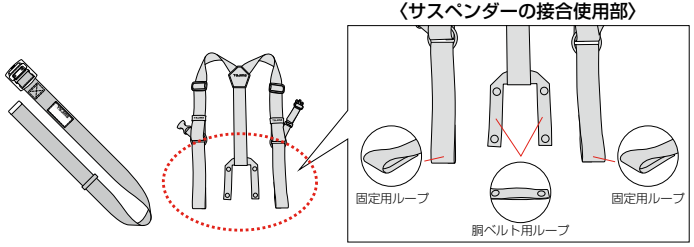


※固定ループの位置にご注意ください。

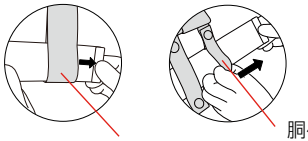
2-2 取付け方法

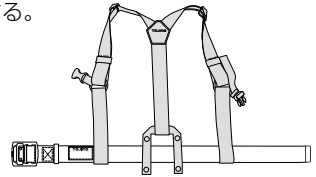
Ⓑ SEG サスペンダー + 胴ベルト

SEGサスペンダーと胴ベルトの取付け方法



サスペンダーの固定用ループと胴ベルト用ループに胴ベルトを通す。
その際、ベルトがよじれないように注意する。



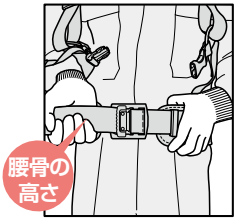


[取付け完成図]

3-1 装着方法

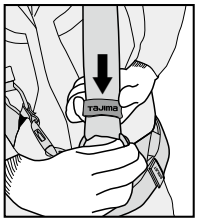
Ⓐ SEG サスペンダー + SEG 胴当てベルト + 胴ベルト

①サスペンダーの胸バックル、安全帯胴ベルトのバックルを外した後リュックを背負うように肩ベルトを腕に通す。この時肩のベルトがよじれないように注意する。

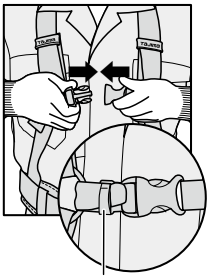


②胴ベルトを腰骨の高さに合わせしっかり締める。特に胴ベルト型安全帯と組み合わせて使用する場合にはP10「5.必ずお守りください」をご確認頂き、胴ベルトを確実に装着するようにしてください。

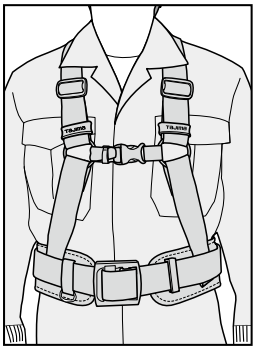
③肩ベルトに腰回り重量がしっかりかかるように左右の調整バックルを使い肩ベルトの長さを調整する。(肩ベルト、背中ベルトが適度に張った状態にする)



④肩ベルトの長さ調整後、ベルトストッパーをアクティブリングの上に移動し、ベルトを固定する。



⑤胸ベルトの胸バックル（凸側）を胸バックル（凹側）に差し込み固定する。その後、胸ベルトの長さを調整する。（胸ベルトが適度に張った状態にする）余った胸ベルトは胸ベルト用ベルト通しに固定する。

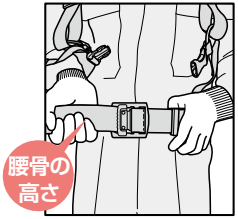


[装着完成図]

3-2 装着方法

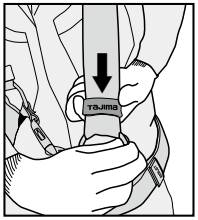
Ⓑ SEG サスペンダー ＋ 胴ベルト

①サスペンダーの胸バックル、安全帯胴ベルトのバックルを外した後リュックを背負うように肩ベルトを腕に通す。この時肩ベルトがよじれないように注意する。

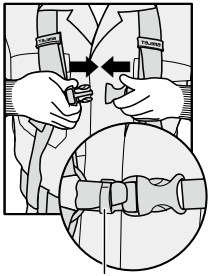


②胴ベルトを腰骨の高さに合わせしっかり締める。特に胴ベルト型安全帯と組み合わせて使用する場合にはP10「5.必ずお守りください」をご確認頂き、胴ベルトを確実に装着するようにしてください。

③肩ベルトに腰回り重量がしっかりかかるように左右の調整バックルを使い肩ベルトの長さを調整する。(肩ベルト、背中ベルトが適度に張った状態にする)

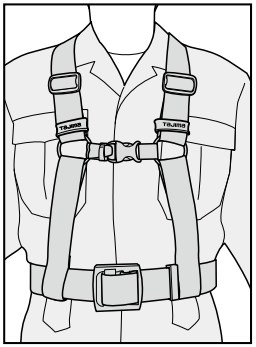


④肩ベルトの長さ調整後、ベルトストッパーをアクティブリングの上に移動し、ベルトを固定する。



胸ベルト用ベルト通し

⑤胸ベルトの胸バックル（凸側）を胸バックル（凹側）に差し込み固定する。その後、胸ベルトの長さを調整する。（胸ベルトが適度に張った状態にする）余った胸ベルトは胸ベルト用ベルト通しに固定する。

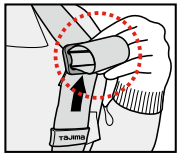


[装着完成図]

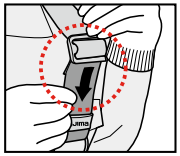
4. 各バックルの調整方法

肩バックル

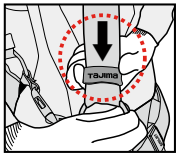
ベルトを短くする場合



①バックルを上側に移動させ「たわみ」を作る。

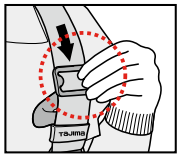


②ベルトの上側を下に引っ張り「たわみ」を無くす。

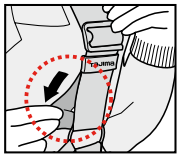


③ベルトストッパーをアクティブリングの上に移動し、ベルトを固定する。

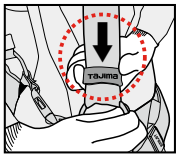
ベルトを長くする場合



①バックルを下側に移動させ「たわみ」を作る。



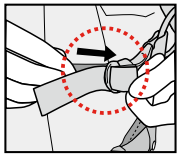
②ベルトの下側を下に引っ張り「たわみ」を無くす。



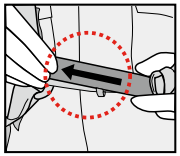
③ベルトストッパーをアクティブリングの上に移動し、ベルトを固定する。

胸バックル

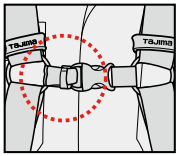
ベルトを短くする場合



①下側の胸ベルトを矢印の方向に押し出し、「たわみ」を作る。

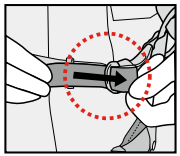


②上側の胸ベルトを引っ張り「たわみ」を無くす。

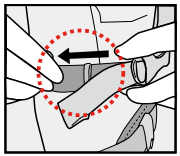


③上側の胸ベルトを「胸ベルト用ベルト通し」に固定し、長い場合には折り返す。

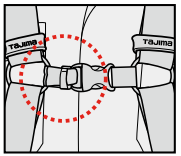
ベルトを長くする場合



①上側の胸ベルトを矢印の方向に押し出し、「たわみ」を作る。



②下側の胸ベルトを引っ張り「たわみ」を無くす。



③上側の胸ベルトを「胸ベルト用ベルト通し」に固定し、長い場合には折り返す。

5.必ずお守りください（使用上の注意事項）

危険 誤った使い方をしますと、墜落などの危険性がありますので、絶対にやめてください。

●本品を安全帯と組み合わせて落下防止目的でご使用になる場合、必ず1本つり専用ランヤードをお使いください。絶対にU字つりでは使用しないでください。

●改造や部品の取外し等の加工は絶対に行わないでください。

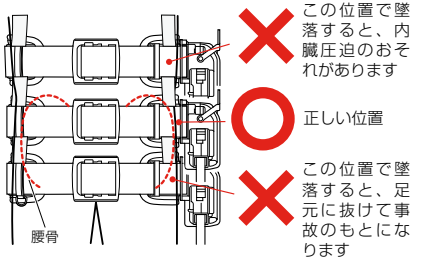
●組み合わせて使用される安全帯の取扱説明書もあわせてご覧いただき、正しくお使いください。

●作業用ベルトなどと組み合わせてご使用いただくことも可能ですが、その場合は絶対に安全帯としては使用しないでください。

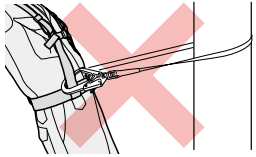
警告 誤った使い方をしますと、墜落などのおそれがありますので、やめてください。

■サスペンダーに取付けた安全帯胴ベルトは腰骨の位置でしっかり締めてください。

ベルトはできるだけ腰骨の近くで墜落阻止時に足部の方へ抜けない位置で、しかも胸部へずれないよう確実に装着してください。



●安全帯のフックをサスペンダーのアクティブリング、ベルトに掛けないでください。



注意 安全にお使いいただくためにお守りください。

●サスペンダーを安全帯と組み合わせて使用する場合は、当社製品を組み合わせてご使用ください。
異なるメーカーのものを組み合わせて使用すると必要強度や機能が得られない場合があります。

●サスペンダーと胴当てベルトは同じサイズのものを組み合わせて頂くことを推奨します。

保管と手入れのしかた

●サスペンダーは次のような場所で保管してください。
①直射日光に当らない所
②風通しがよく、湿気のない所
③火気・放熱体などが近くにない所
④腐食性物質を置いていない所
⑤塵埃の少ない所
⑥子供が遊びに使ったり、動物が製品に損傷を与えたりしないような場所

●物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

●泥・埃・油・塗料が付着している場合は、乾いた布等で拭き取ってください。

●雨や汗でぬれた場合は陰干し（自然乾燥）で完全に乾かしてください。

6.お客様相談窓口

この取扱説明書の内容がおわかりになりにくいときや、製品の取扱いについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

株式会社TJMデザイン
本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
0120-125577 www.tajimatool.co.jp

54806
SZ15054000